

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

### 注意情報

日本紅斑熱のシーズンを迎えています。この病原体(リケッチア・ジャポニカ)を持つ野山に生息するマダニ類に刺されて起こる感染症で、県内では例年淡路地域から報告があります。潜伏期は2~10日で、高熱、皮膚の紅斑、刺し口が特徴ですので、心当たりがあれば早期の受診が重要です。

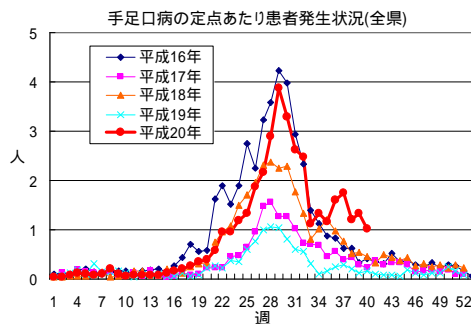
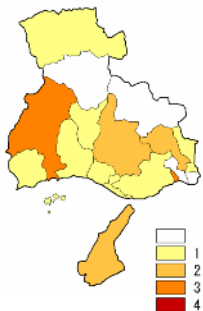
### インフルエンザ情報

川西市内の中学校で10月8日、今シーズン県内初となるインフルエンザによる学級閉鎖がありました。その前日の10月7日に大阪府堺市で学級閉鎖があったところです。また、約1か月前の9月10日には神戸市内の中学校でインフルエンザの集団感染があり、生徒の保護者からA/H3(A香港型)が分離されています。今年のインフルエンザシーズンの到来は早いかもしれません。

### 定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

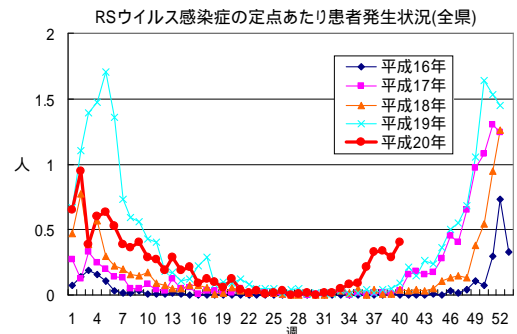
#### 手足口病

今週、報告数は減少しましたが、例年より報告数が多い状況です。夏季に流行する感染症ですが、秋から冬にかけても多少の発生がみられるため、もうしばらく注意が必要です。



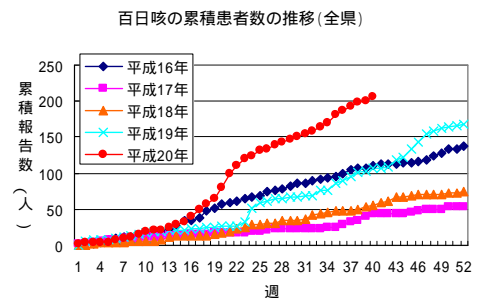
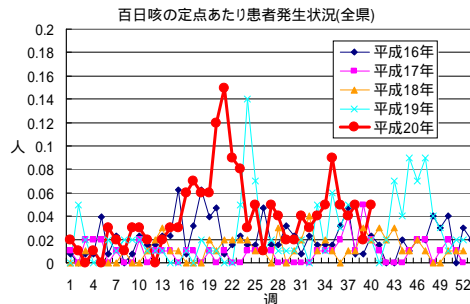
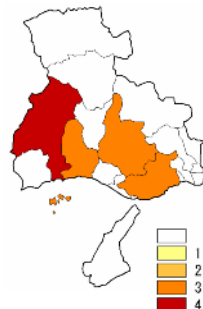
#### RSウイルス感染症

今週、報告数は増加しました。例年よりも報告数が多くなっています。今後の動向に注意が必要です。



#### 百日咳

今週、報告数は6人でした。累積報告数は過去5年間の同時期と比較して最も多い状況です。地域別にみると、龍野保健所管内での報告数が多くなっています。



## 定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

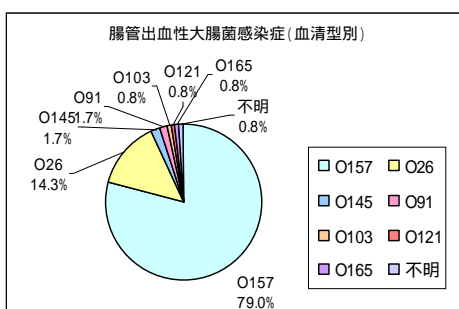
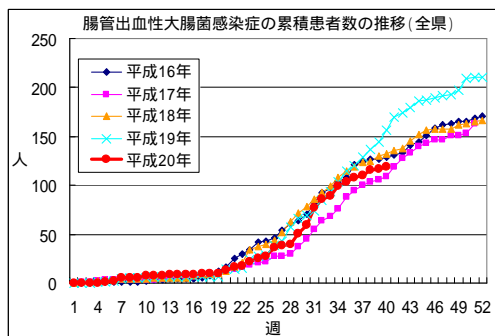
	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	2.95	3.00	- 0.05	6位	RS ウイルス感染症	0.40	0.29	+ 0.11
2位	手足口病	1.02	1.34	- 0.32	7位	流行性耳下腺炎	0.26	0.32	- 0.06
3位	流行性角結膜炎	0.85	0.88	- 0.03	8位	水痘	0.24	0.38	- 0.14
4位	A 群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.67	0.68	- 0.01	9位	ヘルパンギーナ	0.12	0.22	- 0.10
5位	突発性発しん	0.50	0.79	- 0.29	10位	咽頭結膜熱	0.08	0.12	- 0.04

## 全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	<b>結核 31名</b> （神戸市 16名、尼崎市 3名、西宮市 2名、芦屋保健所管内 1名、伊丹保健所管内 1名、宝塚保健所管内 2名、明石保健所管内 2名、加古川保健所管内 3名、豊岡保健所管内 1名）
3 類感染症	<b>腸管出血性大腸菌感染症 2名</b> （神戸市；O157 VT1+VT2+、社保健所管内；O157 VT2+） <b>腸チフス 3名</b> （神戸市 2名；海外渡航者、尼崎市 1名；海外渡航者）
4 類感染症	報告はありません。
5 類感染症	<b>アメーバ赤痢 1名</b> （尼崎市） <b>後天性免疫不全症候群 1名</b> （無症候性キャリア） <b>バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1名</b> （西宮市） <b>麻しん 1名</b> （加古川保健所管内；0歳/臨床診断/ワクチン接種歴無）
追加報告	<b>結核 3名</b> （尼崎市 1名；第 39 週、芦屋保健所管内 2名；第 38 週、第 39 週）

### 腸管出血性大腸菌感染症

今週、2名の腸管出血性大腸菌感染症の報告があり、第40週現在の累積報告数は119名となっています。血清型別に見ると、O157が79%、O26が約14%を占めています。生肉や生レバーを推定原因とする感染例が多く見られており、肉やレバーなどの食品はよく加熱する、生食は控える、箸を使い分けるなどの感染予防が大切です。

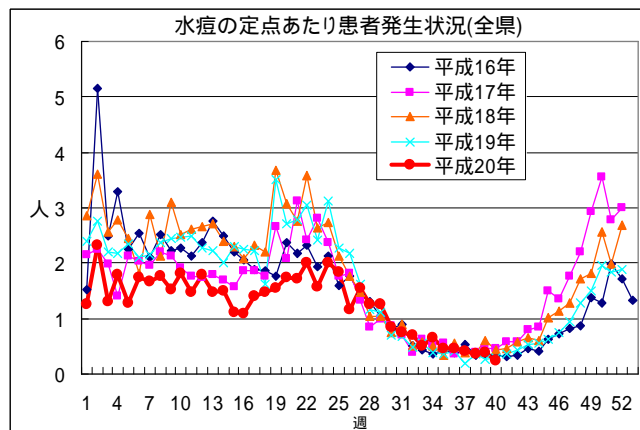
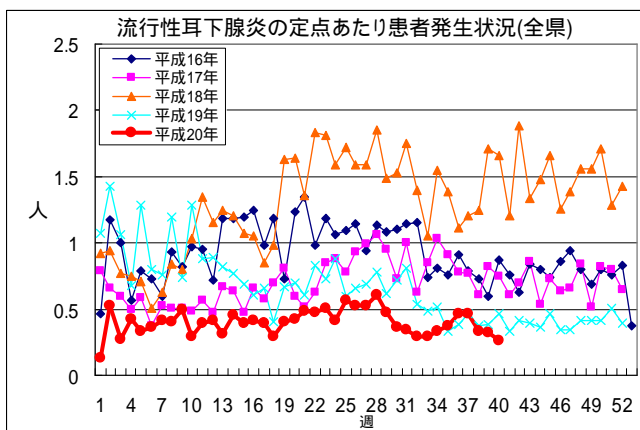
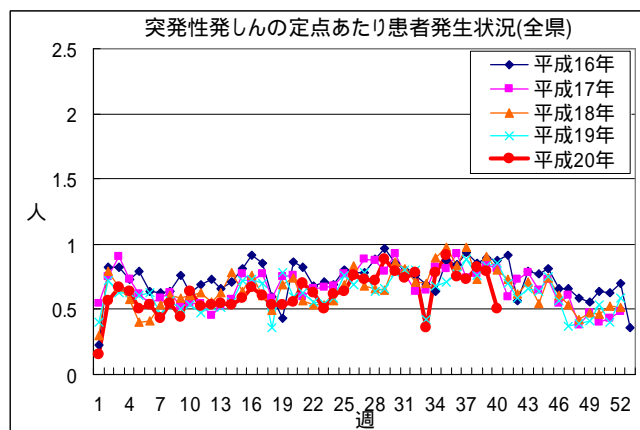
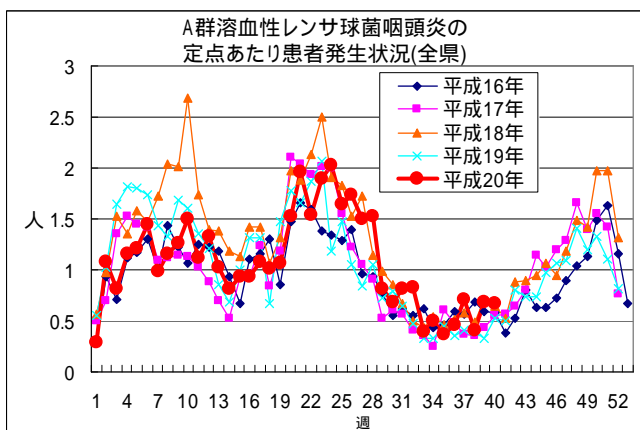
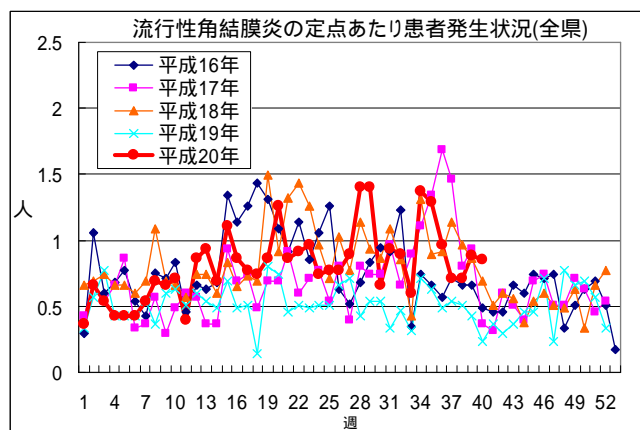
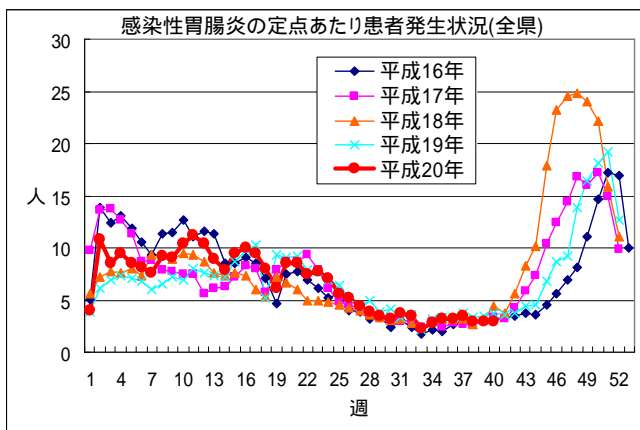


1～40週の累積患者数による

## 検査情報（兵庫県立健康環境科学研究所）

7月から8月にかけての検体のうち、**咽頭結膜熱患者 1名**（7歳）から**アデノウイルス 3型**、**滲出性扁桃炎患者 1名**（5歳）及び同 2名（3,4歳）からそれぞれ**アデノウイルス 2型**及び**3型**が検出されました。また、**無菌性髄膜炎患者 2名**（0,7歳）から**コクサッキーウイルス B5型**が、同じく 1名（6歳）から**エコーウイルス 30型**が、同じく 1名（14歳）から **untyped エンテロウイルス**がそれぞれ検出されました。

## 目で見る動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDWR)がダウンロードできます。